

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態						
政治・経済 Politics & Economics	必	道明 熙	3 年生 物質工学科	2	通年 週 2 時間						
授業概要	現実の社会の動きにもふれつつ、政治・経済に関する基本的な概念を理解する。										
到達目標	政治・経済に関する基本的な知識を学ぶと共に、社会の出来事に興味・関心を持ち理解できる力をつける。										
評価方法	年 4 回の定期試験70%、授業中の課題（提出物など） 30%で評価する										
教科書等	「新政治・経済」（第一学習社）、 プリント等										
内 容					学習・教育目標						
第 1 週	「2050年の私から」― 将来の日本を考える。				A						
第 2 週	政治と法の機能				A						
第 3 週	基本的人権の保障と法の支配				A						
第 4 週	国民主権と議会制民主主義(その1)				A						
第 5 週	国民主権と議会制民主主義（その2）				A						
第 6 週	人権保障の国際的な広がり				A						
第 7 週	議会制民主主義と政治の特質（各国の政治体制）				A						
第 8 週	日本国憲法の成立の過程				A						
第 9 週	日本国憲法の成立を20世紀の世界の流れのなかで考える				A						
第 1 0 週	日本国憲法の三原則・国民主権				A						
第 1 1 週	日本国憲法の三原則・平和主義(その1)				A						
第 1 2 週	日本国憲法の三原則・平和主義（その2）				A						
第 1 3 週	憲法をめぐるさまざまな考え				A						
第 1 4 週	日本国憲法の三原則・基本的人権の保障（その 1）				A						
第 1 5 週	日本国憲法の三原則・基本的人権の保障（その 2）				A						
第 1 6 週	国会の組織とその機能・内閣の機構とその機能				A						
第 1 7 週	人権保障と裁判所				A						
第 1 8 週	地方自治と住民の権利				A						
第 1 9 週	世論と情報				A						
第 2 0 週	世界のなかの日本				A						
第 2 1 週	経済学入門 ― レモンをお金にかえる方法				A						
第 2 2 週	経済の基本を押さえるキーワード（その 1）				A						
第 2 3 週	〃（その 2）				A						
第 2 4 週	〃（その 3）				A						
第 2 5 週	世界同時不況に至る「経済の今」を考える。				A						
第 2 6 週	企業と経済の関係を知る。				A						
第 2 7 週	政府・日銀と経済の関係を知る。				A						
第 2 8 週	金融と経済の関係を知る。				A						
第 2 9 週	為替と貿易について知る。				A						
第 3 0 週	世界経済の現状と日本の課題				A						
(特記事項)		JABEEとの関連									
		JABEE	a	b	c	d-1	d-2	e	f	G	h
		本校の学習・教育目標	A	A	C	C	C	B	D	B	C

ガイダンス：政治・経済

[1] 第 1 週

○大きく変わりつつある世界、そして日本。今後どのような展開となるのだろうか。ある経済研究者のこれまでのデータをもとにした未来予測と其中での「未来の私達」をもとに、政治・経済を学習する導入とする。

[2] 第2週～第7週

○国家とは何だろうか。ヨーロッパ市民革命の思想である社会契約説をもとに、基本的人権と国家の関係や、国民主権と議会制民主主義について学習する。
○いくつかの国の例をもとに、国家のしくみを具体的に学ぶ。また、基本的人権が地球規模で発展している具体例を過去の人権の歴史をふまえつつ学習する。

[3] 第8週～第13週

○日本国憲法の成立について、その過程を詳細にふまえると共に、世界の平和への潮流の中で位置づけつつ学習する。
○日本国憲法の原則の一つである平和主義について、その解釈の変化を国際関係の変化をふまえつつ学習する。
○現憲法に対するさまざまな考えを、平和主義に焦点をあてて説明し共に考える。

[4] 第14週～第15週

○日本国憲法の原則の一つである基本的人権について、具体的な例をもとに説明し学習する。

[5] 第16週～第17週

○立法・司法・行政について、それぞれの組織と機能を学習する。

[6] 第18週～第20週

○地方自治のしくみやその現状と課題について学習する。
○さまざまな情報からより確かな事実を知る力をつけよう。
○これからの日本が世界のなかでどのような役割を果たせばいいのだろうか。大きな視点で考えて見よう。

[7] 第21週～第24週

○アメリカの絵本「子どものための経済学入門」をもとに経済学の「イ・ロ・ハ」を学習します。たくみな絵解きによって、「市場価格の決まり方」、「労働争議の発生と終結」、「競争と独占」、「インフレ→不況→景気回復」等々を楽しく学び、「経済分野」の学習のスタートとします。
○「市場」、「景気」、「GDP」、「インフレとデフレ」、「失業・格差」等々、経済の基本を押さえるキーワードの概念を学習します。

[8] 第25週～第30週

○経済のグローバル化以降、「今」に至る世界と日本経済の流れを学習する。
○社会のなかで企業の果たす役割は何か、日本企業が直面している課題は何か、日本の雇用制度はどこへ向かうのか等々、企業と経済の関係を学習する。
○経済のなかで、政府や日銀はどのような役割を果たすのだろうか、国家財政の現状は、また財政の健全化を達成することができるのだろうか等々、財政・金融政策について学習する。
○「金融」とは、文字通り「お金を融通すること」。お金の余っているところから足りないところへ結びつける金融機関が「銀行」や「証券会社」であり、金融商品が「預金」や「株式」です。これらの基礎を学習する。
○「円安・円高」「為替相場」の基本的な知識をもとに貿易について学習する。
○世界経済や日本の経済の今後の動向は？少子化や資源・原油・食料の供給等はどうなるのか等々について考える。